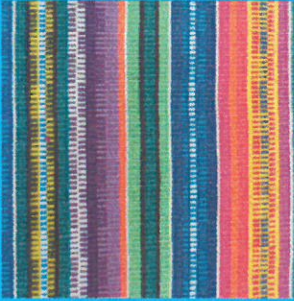


世界の民族衣装展

# グアテマラの 民族衣装 Vol.1



今年度 第2回目の世界の民族衣装展は、「グアテマラの民族衣装 Vol. 1」と題し、色彩豊かな文様が織り込まれた衣装をご紹介します。

織物の盛んな村々はグアテマラの中部から北西部に集中しており、代表的なものだけでも80余りの村があります。近代化に伴い織ることをやめてしまった村や異文化の流入により特色が薄れてしまった村などもありますが、まだまだ特色のある織物を続けている村もあります。

女性用のウィピルと呼ばれるブラウスは、主に1~3枚の布を使用して四角にし、頭と腕が通る穴を開けた貫頭衣型の衣装です。様々な色彩で幾何学文様、花や動物などが縫取り織で織り込まれたり、さらに刺繍が施されたりして作られています。また、ベルトや頭飾り、ショールなども色彩豊かに文様が表現されています。スカートは主に藍染めや絁糸で織られており、一枚の布を身体に巻きつけて着る巻きスカート型になっています。

染織資料展では、代々受け継がれてきた衣装の技法や色彩等、美しく素晴らしい染織資料をご紹介します。是非この機会にご覧ください。

## 平成30年10月2日(火) ~ 11月4日(日)

会場 桐生地域地場産業振興センター  
4階「資料展示ホール」

開催時間 10:00~16:00

休館日 月曜日 入場料 無料

